

未来のヘルスケアについて懇談

ー中国広東省大学生との交流プログラムー

2022年12月16日

経済広報センターは12月16日、広東省人民対外友好協会ならびに広東省教育庁と共同で、「中国広東省大学生交流プログラム」を実施した。「未来のヘルスケアに向けた企業の取り組み」をテーマに、暨南（きなん）大学、広東工業大学、華南師範大学の学生約100人が参加した。

同プログラムは、2015年の開始以降、中国の学生を日本に招聘していたが、新型コロナウイルスの影響により、21年と同様にオンラインでの開催となった。

日本側は、社会的健康戦略研究所代表理事の浅野健一郎氏が、高齢社会の対策として、政府主導による企業の健康経営推進および保健事業の強化、企業内の活動を支えるヘルスケア市場の活性化について説明した。

日本企業の取り組みとして、カルビー執行役員でカルビーオーバーシーズカンパニーグローバルブランディンググループグループ長の小泉貴紀氏から、中国でも人気の高い同社のシリアル商品「フルグラ」を例に、日本で注目されている糖質オフなど、食品のヘルシー志向への取り組みに注力している旨を紹介した。

ローソンのナチュラルローソン商品部部長の鷲頭裕子氏は、同社の取り組みのなかで、市場ニーズに合わせ、減塩などの「健康10テーマ」を設定しており、同テーマに合う商品を開発していると紹介した。

最後に、暨南大学の呉希陽教授が、中国のプロバイオティクス事業や食の安全について講演した。

学生は全プログラムを通して積極的に質問するなど、日中の相互理解を深めるとともに、友好関係をさらに強くする機会となった。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。